

特別支援教室（STEP UP教室）とは？

学校生活の中で、このようなことはありませんか？

- ・まわりの人にあまり関心を示さず、みんなと一緒に行動することが苦手である。
- ・自分の話ばかりして、人の話を聞くことが苦手である。
- ・注意力が散漫で落ち着きがなく、ささいなことで興奮する。
- ・ぼんやりしていて集中力に欠けることが度々ある。
- ・こだわりが強く、周囲に合わせて行動することが苦手である。
- ・衝動的に行動し、待つことや我慢することが苦手である。
- ・家では話すが、心理的な要因により学校では場面や相手により話せなくなってしまうことがある。
- ・音読や計算等、特定の学習の習得が部分的に困難である。
- ・図形や絵など、形をうまく捉えることが出来ずに描けないことがある。



◆板橋区では

上記のように通常の学級で学習や生活をする上で困難さを抱えている児童・生徒への支援として特別支援教室（STEP UP 教室）を区内の全小中学校に設置しています。

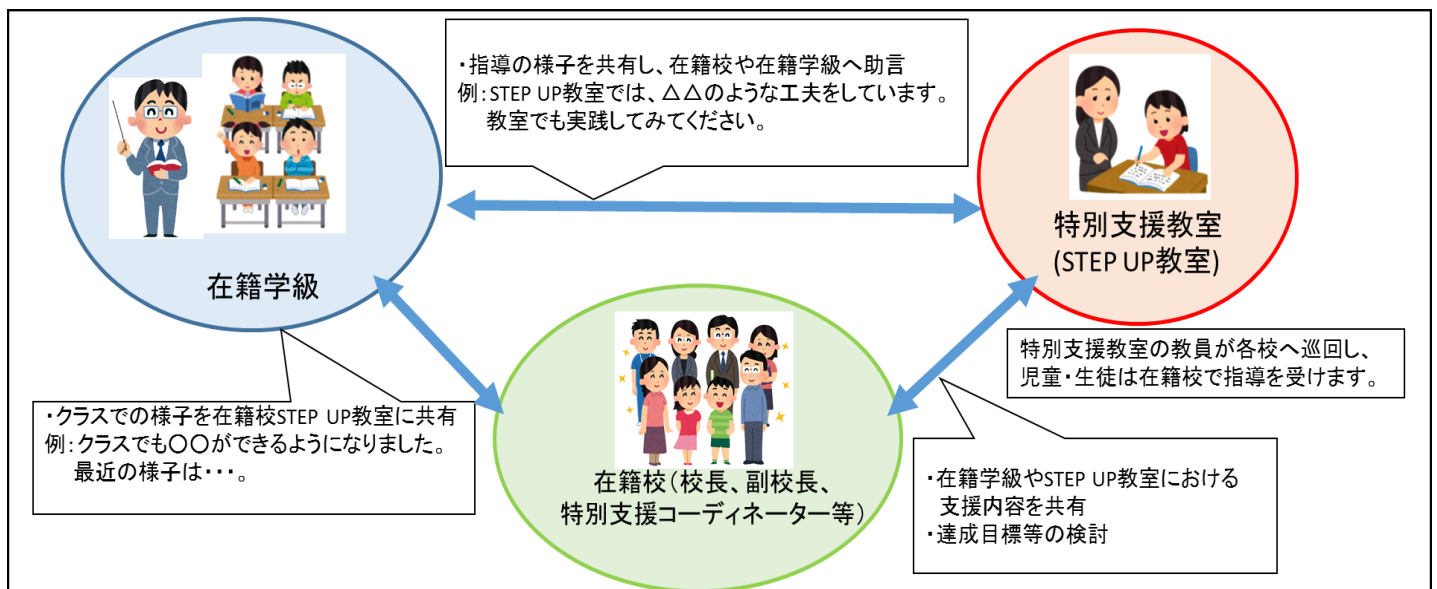
◆STEP UP 教室では

- ・決められた曜日、時間に巡回指導教員による指導を児童・生徒が在籍する学校にて行っています。
- ・生活上または学習上、困っていることを軽減、改善するための活動（自立活動）を行います。
- ・発達特性等に応じて、生活面や学習面での困難を克服・改善するために個別指導や小集団指導を行います。
- ・一人ひとりに合った方法で自信を付け、社会適応力を育てていきます。

※教科の予習・復習等の学習は行いません

特別支援教室（STEP UP 教室）の目的とは？

児童・生徒の生活上、学習上の困難さを改善・克服し、可能な限り多くの時間を在籍学級で有意義な学校生活を送ることができるようになります。

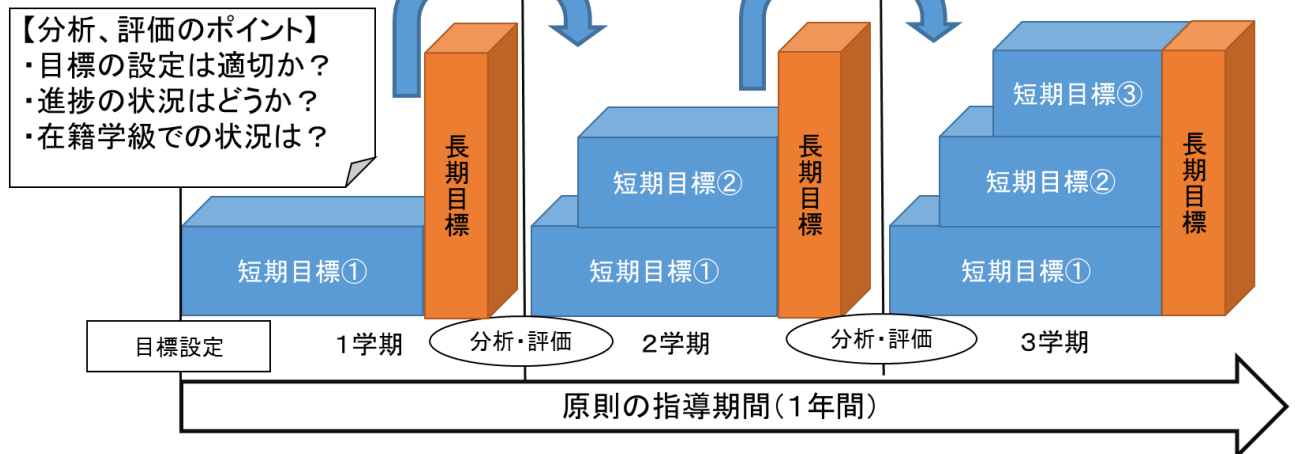


特別支援教室(STEP UP教室)での指導・支援

◆原則の指導期間とは？

児童・生徒の状況や指導の進捗状況を定期的に分析・評価するために定められた期間です。学校生活を送るうえでの、中心的な課題や困り感の克服に向けて指導を計画的に行います。保護者、学級担任や特別支援教室の教員など関係者が連携・協力を図り短期目標（学期毎）の達成を積み上げ、長期目標（1年間）の達成をめざします。

【原則の指導期間のイメージ】



◆原則の指導期間終了後は？

指導期間中の進捗状況に応じて、今後の支援方法についても保護者・在籍校・特別支援教室と一緒に考えます。引き続き、特別支援教室での支援が必要な場合には、「指導の延長」や「再入室」をすることも可能です。

※年度途中からの利用の場合は、翌年度末までが「原則の指導期間」となります。

